

事業者向け

放課後等デイサービス自己評価表

対象者9名 松山

		チェック項目	はい	どちらとも いいない	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・ 体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	8	1		国の基準を基に配置している。現在はコロナ禍でもあるため、適切なスペースが確保できるよう努めている。
	2	職員の配置数は適切であるか	9			基準を基に考慮し、適切に運営している。
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	5	2	2	現状で配慮すべき身体障害を持った児童はいないが、エレベーターがなく階段の昇降時は職員が安全を配慮している。壁の撤去などできる範囲で対応。
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	7	2		モニタリング会議を通して確認を行ったり、その都度職員同士で話し合いをするなどし、共有できるよう努めている。
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	8	1		年に一度保護者向けの評価を実施し、結果を職員も把握するようにしている。
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	7	1	1	ホームページで公開している。
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	4	4	1	今後実施の検討が必要。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	8	1		研修の機会を十分に設け、資質向上に取り組んでいる。
適切な 支援の 提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	9			ラインでの相互の連絡や、面談の機会を設けて各家庭と連携を図り、家庭で困っている事や児童の意思を把握できるようにしている。またそれを共有し、毎日の支援計画を作成している。
	10	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	3	3	2	今後検討の必要あり。(1名回答なし)
	11	活動内容の立案をチームで行っているか	8	1		その日の朝に出動者全員で確認・共有事項を話し合ったうえで、業務日誌に活動内容を記入し、全員が確認できる場所に置いている。
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	9			児童の状況に合わせて臨機応変に対応出来ていると思う。子どもの参加意欲が低下しないよう考慮している。
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	9			その日の利用時間に応じて机上活動の他、行動療法、運動療法、戸外活動など多方面の支援を心がけている。
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	8	1		児童の特性やニーズに合わせて作成している。
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	8	1		毎朝全職員で打ち合わせと一日の流れの確認を行い、その日の支援について共有している。
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	8	1		支援終了後は児童ひとりひとりの支援経過を記入し、それぞれの職員の視点から見た児童の様子を情報交換している。

	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	9			上記の支援経過は必ずチェックし、記入漏れや問題点を確認している。
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	8	1		半年に一度モニタリング会議を行い、全職員が参加して支援の見直しを行っている。
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせさせて支援を行っているか	8	1		活動に大きな偏りがないよう行っている。
関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	9			基本的に児発管が参加するようにしており、事前に担当職員との確認を行う。
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか	8	1		送迎時などに担任の先生とのコミュニケーションを取ったり、電話連絡やメールなどを通じて情報共有している。また、当校に来ることで学校が出席扱いになる児童に関して、学習支援内容やその日の様子を必ずメールでお伝えしている。
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	4	5		医療的ケア児の受け入れは現時点ではない。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	6	3		書面での確認など、適切に情報共有できている。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	4	5		いつでも提供できるよう準備を整えている。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	6	3		必要に応じて個別療育の見学や担当セラピストと情報交換することもあるが、今後もっと積極的にそのような機会を設けることが出来るよう検討したい。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	3	4	3	コロナ禍で難しい部分があるが、状況が落ち着けば検討の必要がある。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか	5	3	1	オンラインで長崎地区子ども部会等に参加している。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	8	1		LINEや電話連絡等で常に速やかに連絡が取れる体制を整えている。
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	3	5	1	面談や普段の情報交換の中で相談・助言を行っている。
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	8	1		契約時・面談時に説明を行っている。
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	8	1		必要に応じて行っている。
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	2	2	5	父母の会は設けていない。

	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	8	1		苦情があった場合は必ず職員で共有し、以降の対応の仕方もふまえて速やかに対応するよう心掛けている。	
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	6	2	1	会報は発行していない。インスタグラムで活動内容を発信し、定期的に更新している。	
	35	個人情報に十分注意しているか	9			個人名や写真など、個人情報の取り扱いについて事前に保護者に確認し、十分に注意している。	
	36	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	8	1		写真、イラスト、ものなどを使って児童の特性に合わせた伝え方を工夫している。	
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	1	5	3	コロナ禍ということもあり、開かれた交流は現時点では取り組んでいないが、交流員を配置して対応している。	
	非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	7	2		現在新しいマニュアルの作成に取り組んでいる。
		39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	8	1		定期的に行っている。消防署の防災訓練に参加している。
40		虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	8	1		虐待防止委員会を設置し、姉妹校と共同で取り組んでいる。	
41		どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	7	2		支援計画書に明記し、説明を行っている。	
42		食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	7	2		家庭から医師の診断書を提出していただき、それに基づいた対応をしている。	
43		ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	7	2		毎日の業務日誌に欄を設け、事案については全職員が必ず把握できるよう回覧している。	